

びわこ総文 囲碁部門 滋賀県予選

宮本君 谷沢さんが優勝



▲びわこ総文の代表をかけ、静かな中にも熱い戦いが繰り広げられた。

5月2日、本校会議室にて第39回全国高等学校総合文化祭囲碁部門滋賀県予選が開催された。今大会で今夏、滋賀県で開催されるびわこ総文囲碁部門の代表が決定した。

今大会において女子の部で谷沢真理さん(3-1)が優勝し、辰野奈穂さん(3-6)が準優勝した。男子の部では、宮本奏汰君(3-2)が優勝し、宮川壮也君(3-5)が準優勝した。これによって、びわこ総文囲碁部門の滋賀県代表として男子個人戦に宮本君、女子個人戦に谷沢さん、団体戦に辰野さん、宮川君、女子で3位に入賞した谷野花奈さん(3-3)が出場することが決まった。また、開催府県の増枠で3位に入賞した尾木優斗君(3-5)が男子個人戦に、4位に入賞した玉村依子さん(3-3)が女子個人戦に出場するほか、計14人が本校か



▲真剣な面持ちで試合に臨む選手

男子の部で同じく優勝を果たした宮本君は「接戦も多かったが最後まで平常心で戦ったのが勝ちにつながった。優勝できたのは練習の成果が出たからだと思う」と今大会を振り返り、びわこ総文に向けて「今年は滋賀県開催であるので1つでも多くの勝ちを取れるように頑張っていきたい」と話した。びわこ総文囲碁部門の生徒実行委員長の玉村さんは「びわこ総文」に向けて「全国からやって来る囲碁部門のみなさんが良い気分で行ってもらえるような案内をして囲碁の試合だけでなく滋賀県の魅力を紹介していきたい」と意気込んだ。

らびわこ総文に出場する。大会の女子の部で優勝を果たした谷沢さんは今大会を振り返って「いつも勝つことが出来ない相手に勝つことが出来てとても嬉しい」と感想を話し、2ヶ月半後に迫った「びわこ総文」に向けて「総文では強い選手が多く出場してくる。自分の打ちたい手を思い切り打って県外の選手たちと戦っていきたい」と意気込んだ。



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号